

県政活動報告書



みんなの声を県政へ
茨城県議会議員

きよし
とつつか 潔



「人が輝くまちづくり」に全力で取り組んでいます！

皆様方には平素より外塚潔の県政活動につきまして、多大なるご支援とご協力をいただき誠に有難うございます。日頃、外塚潔に対し賜りましたご厚情に深く御礼申し上げます。

昨年は、保健福祉委員会副委員長として、少子化対策を進めるため次世代に向けて、子育て支援、医療体制の充実に取り組んでまいりました。更に高齢者の活躍促進について、地域社会における支え合いなど、高齢者が積極的に地域社会に参加し活躍できるための支援や環境整備等の促進を図ってまいりました。

本年は、**総務企画委員会副委員長、環境保全対策調査特別委員会委員**として活動に取り組んでおります。

今年の総務企画委員会は、「**茨城の魅力活用に向けた取り組み**」をテーマに、本県の実力を県内外に広く伝え魅力度を高め郷土愛を醸成し、県民が誇りを持つ郷土づくりを図るため、効果的なPR手段や、豊かな地域資源と暮らしやすさを併せ持つ魅力をさらに向上させるための取り組みについて調査活動をおこなってまいりました。

魅力発信のPR手段としてインターネットを活用した広報「**いばキラTV**」の動画発信の充実や、市町村と県との情報共有の機会を設け情報発信力の強化を図りました。NHK連続テレビ小説「**ひよっこ**」や圏域放送で市町村等との連携による県民への情報発信と、話題性のあるコンテンツを創造し効果的なPR活動を図りました。

魅力向上に向け、地域資源を活用した取り組みとして、水郷筑波サイクリングの環境整備状況などを調査し、特にかすみがうら市内のかすみキッチンをはじめ、

歩崎公園周辺の自然、歴史、文化、特産品等を調査しました。

次に**魅力的なまちづくり**としてT X沿線地域のまちづくりなど交流人口の拡大に向けた取り組みを調査、茨城空港の機能充実・強化のため蛇腹式搭乗ゲートを設置し更なる利用促進を図ってまいりました。

また、働く場の確保として**企業立地の推進**を図り、本年は、古河市に誘致した日野自動車(株)古河工場のフル稼働が叶い2千人の雇用がうまれました。

茨城県が魅力度ランキング最下位から上昇することは勿論ですが、これからも皆様が安心して暮らせる社会の実現に向け、精一杯取り組んでまいります。

本年、県議会は「**環境保全対策調査特別委員会**」を設置し霞ヶ浦をはじめとする本県の湖沼等の環境保全対策について本県の本気度を示し全県を挙げて対策をして行くための施策や、県土面積の約3割を占める森林の人工林(杉・檜)が伐採時期を迎えている中、豊かな森林資源を有効に活用する対策が急務となっております。委員会では、本県に係る環境問題への対策を中心に、今年で10年目を迎えた**森林湖沼環境税の在り方や世界湖沼会議開催に向けた取り組むべき事項**などについて議論を重ねてまいりました。その他、生物多様性の保全と持続可能な利用を推進するには、環境対策と県民等への意識啓発や生物多様性に関する教育・学習などに取組む必要があり、このような学習活動等を担う「**人づくり**」人材育成の充実を図ることが、茨城県のイメージアップに大きな役割を果たすと確信しました。

平成29年第1回定例会で、通算5回目の一般質問を行いました。今回の内容も「**みんなの声を県政に**」という初心に沿い、霞ヶ浦を活かした活性化、教育・環境問題、農林水産業の振興、安全安心な生活環境の充実、さらに、地域の核となるインフラを結びつける道路網の強化など「**人が輝くまちづくり**」を実現するための事項を掲げました。

県政発展のため全力で取り組んでおりますが、初志貫徹、目標達成のためには、皆様方のさらなるご支援とご協力が必要でございます。今後もみんなの声を県政に届け、確実に成果を上げるべく活動してまいりますので、皆様方には、倍旧のご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。



土浦日本大学高等学校31年ぶり2回目の優勝果たす

茨城県議会議員 外塚 潔

平成 29 年第 1 回定例会一般質問

(平成 29 年 3 月 6 日)

● 一般質問の録画は以下のサイトからご覧になれます。

茨城県議会・インターネット中継 <http://www.ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/>

1. 地域間連携のための道路整備の展望について



外塚議員質問

人口減少が続く中、地域間で連携を図る重要性が高まっている。地元かすみがうら市においても、隣接する石岡市、土浦市などとの連携を図ることが地域を持続的に発展させていく上で欠かせない。地域の核となるインフラを結びつける道路網の強化は喫緊の課題である。千代田石岡ICから神立駅や土浦協同病院などの拠点を結ぶ新たな道路網を構築し、国道6号など主要幹線道路の役割を補完していくことが必要である。加えて、より迅速かつ円滑なルートの確保のため、JR常磐線を横断する新たな跨線橋の整備なども欠かせない。石岡市、かすみがうら市、土浦市を結ぶ道路整備の展望について、新たな跨線橋の整備を含め、今後、どのように取り組んでいくのか。



橋本昌知事答弁



広域ネットワークの形成や地域間の連携強化に資する幹線道路の整備は重要と考えている。このため、かすみがうら市、土浦市、石岡市の三市の地域では、国道6号や国道354号、県道、市道などを、国、県、市の役割分担の下、整備を進めているところである。このような中、平成23年度に土浦協同病院の移転が決定したため、三市の中心部などを連絡する新しい道路整備が必要であるとの認識のもと、実現に向けた協議が進められ、2つの新設道路が検討されている。今後は技術的な助言を行うとともに、できるだけ速やかに事業化できるよう、最大限の支援を行っていく。



2. 常磐線沿線地域の活性化について



外塚議員質問

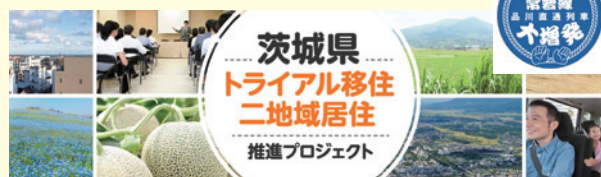
常磐線沿線地域の開発・整備は市町村任せとなっており、なかなか進まない上、沿線地域の活性化が図られていない。常磐線沿線自治体の人口は、およそ137万人であり、本県の全人口の約4割強である。列車の発着便数を見ると、土浦駅から上り方面はおよそ100本、水戸土浦間の普通列車は43本である。このようなことを考慮すると、常磐線沿線地域について、県が計画人口を含めた開発・整備の方向性や計画を決定し、どのようなスキームで達成していくのか真剣に考え、沿線自治体に協力していけば、さらに沿線地域に人口を増やすことができ、地域の活性化を促進できると考える。

県内の常磐線沿線地域の活性化に向けて、どのように取り組んでいくのか。



企画部長答弁

これまで、常磐線沿線地域の開発の進展により、沿線市町村の人口が増加してきた。現在も、沿線市町村においては、さまざまな手法を活用しながら、駅を中心としたまちづくりが進められている。県としては、沿線市町村の取り組みが円滑に進むよう、引き続き積極的に支援していくとともに定住人口の確保のため、東京圏からの移住・二地域居住の促進に一層力を入れていく。併せて沿線地域の活性化のためには、常磐線のさらなる利便性向上が極めて重要なため、沿線市町村等と連携し、JR東日本に対し東京駅・品川駅への乗り入れ本数の増加などを引き続き強く要望していく。

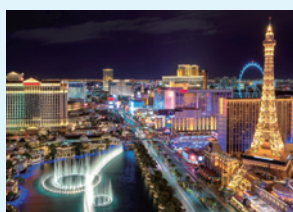


3. 霞ヶ浦へのリゾート施設の誘致について



外塚議員質問

霞ヶ浦や周辺地域の再生と活性化のためには、交流人口を増大させることが必須である。本県においても1,000万人集客を目指す施設が必要であり、統合型リゾート施設を霞ヶ浦湖岸に誘致することを検討すべきである。昨年12月26日にIR推進法が公布、施行された。さらに、本年2月26日に県内の圏央道が全線開通し、成田空港から関東各地の観光地へのアクセスが向上、観光周遊の促進が期待できることになった。しかし、本県の現状のままでは、観光客に素通りされてしまう。IR推進法をきっかけとして、準備を始めなくてはならない。霞ヶ浦へのリゾート施設の誘致について、今後どのように取り組んでいくのか。



企画部長答弁

昨年12月にIR推進法が成立し、国においてはカジノ施設を含めた統合型リゾート施設の整備に向けた制度構築が進みつつある。統合型リゾート施設の整備は、地域経済の活性化や観光振興といった効果が期待される一方、治安などへの悪影響が懸念されるといった議論もある。今後、国の動向を見極めるとともに、各方面の意見も聞きながら、経済効果や課題、対応策について勉強していきたい。また、来年度は「霞ヶ浦環境創造ビジョン」を改定するため、リゾート施設の誘致などを含め、霞ヶ浦にふさわしい活性化のあり方などを検討していきたい。



4. 第17回世界湖沼会議の開催について



外塚議員質問

平成30年10月に、本県で第17回世界湖沼会議が開催される。本年2月には会議の具体的な内容を定めた基本計画が策定されたが、現在、農林水産省が共催となっていないので、共催への働きかけを強化してもらいたい。そして、参加者は、市民・研究者などを対象に4,000人を予定しているとのことだが、研究者の発表は英語のみの対応と想定される。日本全国から参加される方々のために、同時通訳や翻訳した論文要旨を用意するなど、日本語でのおもてなしが必要である。また、一般の方々に参加する分科会などでも、さまざまな研究などを世界に発信できると素晴らしい。世界湖沼会議の開催にあたり、どのような具体的計画を策定し、どう実施していくのか、さらにこれを契機に泳げる霞ヶ浦はいつ実現するのか。



生活環境部長答弁



農林水産省に対しては、世界湖沼会議の実行委員会の委員就任を依頼するとともに、共催機関として協力してもらえるよう相談している。日本語でのおもてなしについては、メイン会場のつくば国際会議場での開閉会式はもとより、各セッションや分科会でも同時通訳を行い、必要に応じて翻訳した論文要旨などを用意する。また、共催する国土交通省などが関係する産業や技術を取り入れた分科会や市民活動と環境学習に焦点を当てた分科会も設ける。来年度は、セッションや分科会のテーマや内容などについて定める実施計画を策定するなど、会議の開催準備を着実に進めていく。泳げる霞ヶ浦については、CODを5mg/ℓ台としているが、平成32年度の目標が7.4mg/ℓなので、それ以降のできる限り早期に実現を目指す。



世界湖沼会議記念事業

サテライトかすみがうら(歩崎公園) 会場調査活動



5. つくば霞ヶ浦りんりんロードについて

(1) つくば霞ヶ浦りんりんロードの活用



外塚議員質問

つくば霞ヶ浦りんりんロードは全長約180kmのコースであり、平成32年度までに日本一のサイクリング環境を構築することが目標とされている。平成27年3月に行われた予算特別委員会において質問した際には、企画部長から「3年間を目途に環境づくりをし、**2,000人から3,000人規模の大会を開催したい**」との答弁をいただいた。それから3年目になるが、**サイクリング大会について具体的な計画はあるか**。また、本年1月5日の知事定例記者会見では、このコースを「大いに活用していきたい」とのことだったが、**具体的には、どのような活用方法を考えているのか**。つくば霞ヶ浦りんりんロードの活用について、今後どのように取り組んでいくのか。

(2) つくば霞ヶ浦りんりんロードの整備状況



外塚議員質問

つくば霞ヶ浦りんりんロードは、県道区間の約81kmが開通したところだが、霞ヶ浦の湖岸を通る桜川土浦潮来自転車道線の40.1kmのうち、自転車専用の道路の整備が済んでいるのは、およそ12kmのみである。自転車と自動車の通行が分離できず、さらに国道などを横断する箇所や、**かすみがうら地内に河川を越えるにあたって危険な箇所がある**。このような箇所を解消するために早期の整備が必要である。今後、どのような場所に、どんな規模で、いつまでに整備していくのか見通しは立っているのか。つくば霞ヶ浦りんりんロードのうち、霞ヶ浦の湖岸を通る県道桜川土浦潮来自転車道線の整備状況と今後の見通しを伺う。



企画部長答弁

サイクリング大会については、昨年策定した総合計画に位置付けるとともに、実際に開催する場合の開催時期や開催までの準備スケジュール、ヒルクライム大会やセンチュリーライドといった大会の種類、規模、必要経費などについて分析・検討を行っている。そのような中、来年度はまず、**本県のサイクリング環境の周知・広報のためのサイクリングイベントなどを沿線市町村と連携して開催したい**。サイクリングは、交流人口の拡大により地域の消費拡大や、本県のイメージアップなど幅広い波及効果が期待できるため、**地元市町村などとのつながりを密にし、つくば霞ヶ浦りんりんロードのさらなる利用促進に取り組む**。



土木部長答弁

霞ヶ浦の湖岸を通る県道桜川土浦潮来自転車道線の残る約28kmのうち、サイクリングの拠点施設の整備が予定されている土浦駅周辺から、利用者の多い土浦市手野町地内の約1.8km区間について、今年度から優先的に整備を進めている。また、**かすみがうら市加茂地内の川尻川を渡る区間は、新たな自転車のための橋梁を設置することとし、国と協議を進め、来年度には実施設計を行う予定である**。さらに霞ヶ浦大橋西側は、交通量の多い国道354号をサイクリストが**安全に横断できるよう、既存の市道のボックスに接続するスロープを来年度に整備する予定である**。県としては、日本一のサイクリング環境の構築を目指し、地元市町村などと十分連携して整備の推進を図っていく。



6. 農地中間管理機構における借り手の現状把握について



外塚議員質問

平成26年度から始まった本県の農地中間管理事業は、やっと農地集積が進み始めて来たところだが、**農地中間管理機構では、農地の借り手の現在の経営状況や納税状況などについて、把握しているのか。**農地中間管理事業が始まる前に、農地集積のために実施されたいばらきの畑地再生事業では、農地の借り手側の問題が表面化してきている。**農地の借り手への指導や貸し手へのフォローは、どのように行われているのか。**さらに、現在各市町村の農業委員会から耕作放棄地の所有者に対して、利用意向調査などが実施されており、**機構に農地の借り手への監督責任があってしかるべきである。**農地中間管理機構において、今後農地の借り手の現状をどのように把握し、指導していくのか。



農地中間管理事業を活用して
**皆さんの農地を
活かしましょう**



農林水産部長答弁



農地中間管理機構では、農地を貸し付ける前に、借受希望者の経営状況について把握し、借り受けた後に農地を確実に耕作していけるか確認している。**納税状況の把握は、法令などに定められていないので行っていない。**農地を貸し付けた後は、毎年機構から借り手に対して農地の利用状況の報告を求めており、適正に利用されていない場合は、借り手に指導を行い、改善されない場合は、賃貸契約を解除して新たな借り手に貸し付けるなど迅速に対応する。貸し手へのフォローは、借り手の変更が必要となった場合に、随時情報提供するとともに、新たな借り手との賃料設定の協議を行うなどの対応をしている。**今後は、貸し付ける前の借り手の経営状況の確認及び貸し付けた後の利用状況の把握を徹底するよう、機構を指導していくとともに、農地が耕作されていない場合などには、機構や市町村などと連携しながら、借り手に対し強く指導していく。**



公益社団法人
茨城県農林振興公社

農地の貸し借り、おまかせください。



【お問合せ】

公益社団法人茨城県農林振興公社
(茨城県農地中間管理機構)

〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3118番地1

TEL : 029-239-7131

FAX : 029-239-7097



7. つくばの景観づくりについて



外塚議員質問

平成28年第1回定例会の一般質問において、G7茨城・つくば科学技術大臣会合を契機として、「計画や管理マニュアルなどを策定し、**どのような景観をつくばにつくっていくのか**検討していくべき」との質問をした。その際、土木部長からは、「**街路樹の維持・再生のための計画を作成するとともに、マニュアルもあわせて検討する**」などの答弁をいただき、本年3月末には「筑波研究学園都市における街路樹の維持・再生計画」が決定されるとのこと。計画は平成29年度から開始されるが、実施する事業の具体的な内容は、どのようになるのか。「筑波研究学園都市における街路樹の維持・再生計画」に基づき、つくばの景観づくりをどのように進めていくのか伺う。



土木部長答弁

街路樹の維持・再生計画については、**50年後の街路樹の将来像を見据え**、当面実施すべき施策などを盛り込んだ計画案を作成し、現在最終的なとりまとめ作業を進めており、3月末には計画を確定する予定である。具体的には、**安全面では根や幹の健全性を点検し樹木を更新したり、景観面では樹形の回復が期待できない樹木の更新**などを行うなど、この維持・再生計画をもとに街路樹の総点検を行い、倒木対策を実施していく。併せて、来年度から**3年間で集中的に暗い歩道や見通しの悪い交差点で樹木の密度を調整**することや、樹種ごとに樹形管理のために剪定することなどを試験的に施工し、その効果を検証した上で、**管理マニュアルを作成し**、本格的な施工を進めていく。



完成 **西成井地区横断歩道整備**

工事前 工事後

完成 **県道戸崎上稲吉線稲吉南地区歩道整備**

工事中 工事後

完成 **平成28年度 沖ノ内堤防強化工事第一期工事**

NEW **国道354号加茂十字路拡幅整備開始**

調査活動 **雪入橋調査活動**

2017年 活動報告



2月10日 総務企画委員会副委員長として県財政について問う



2月12日 茨城県の農産物を提供・調査活動



3月11日 茨城県東日本大震災6周年追悼・復興祈念式典



5月12日 カシマサッカースタジアム視察 (大型スクリーン設置調査活動)



5月16日 県南農林事務所土地改良部門長に要望活動



5月16日 土浦土木事務所に要望活動



5月23日 土浦土木事務所に要望と意見交換会



6月15日 総務企画委員会にてマーケティング調査活動



6月20日 環境保全対策調査特別委員会活動



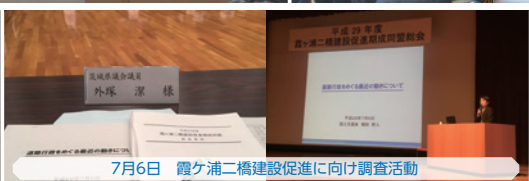
6月26日 つくばみらい市新設小学校調査活動



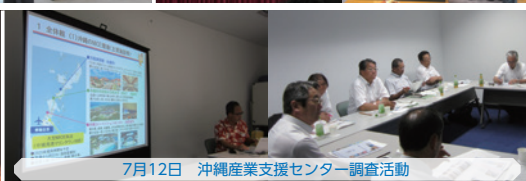
7月 31年ぶり2回目甲子園出場校調査活動



7月3日 霞ヶ浦北浦治水利水環境促進同盟会にて調査活動



7月6日 霞ヶ浦二橋建設促進に向け調査活動



7月12日 沖縄産業支援センター調査活動



7月13日 NPO法人ツール・ド・おきなわ協会サイクリング大会調査活動



7月14日 宜野湾ベイサイド情報センター企業育成調査活動



8月2日 魅力活用に向けた意見聴取活動



8月2日 魅力活用に向けた意見聴取活動



9月6日 土木部長へ要望活動



9月15日 日立市役所新庁舎完成にて調査活動



9月15日 かなさ笑案校 (廃校の利用調査活動)



9月15日 道の駅常陸大宮かわプラザ調査活動



9月15日 道の駅常陸大宮かわプラザ調査活動



10月27日 茨城県青少年相談員研修大会にて調査活動



各部長へ陳情活動

11月7日 霞ヶ浦二橋建設促進に関する陳情活動

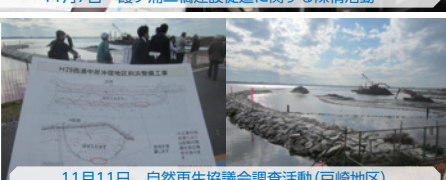


県議会議長へ陳情活動

11月7日 霞ヶ浦二橋建設促進に関する陳情活動



11月9日 霞ヶ浦湖岸堤防強化の要望



11月11日 自然再生協議会調査活動(戸崎地区)



11月11日 自然再生協議会調査活動



11月15日 県西地区五霞IC周辺土地利用調査活動



11月18日 元気な森林づくり活動調査



発行 / 茨城県議会議員 外塚 潔
〒315-0055 かすみがうら市稲吉南3-14-20
mail:totsuka.kiyoshi@poplar.ocn.ne.jp
<http://www.totsuka-kiyoshi.net>
TEL 029-831-6880 FAX 029-831-6882

